

# 令和5年度 放課後等デイサービス ばくの樹 自己評価表

R6年1月24日実施

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		国の基準は満たしていますが、年齢の高い方が集まりますと部屋が狭く感じます。音楽療法やバリアフリービクス等の活動では、広い場所を借りて実施しています。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		国の基準を満たしていますが、その日の利用者さんの様子や実施するプログラムの内容により、国の基準では職員不足を感じる場合があります。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	一般の一軒家を使用しており、段差があります。賃貸物件のため、改修が厳しいです。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			年に一度、各業務（係）の年間業務設定と振り返りを実施しています。 振り返りは3月、業務の年間計画は4月に行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケートを実施後、パートを含めた会議の中で、その内容を確認しています。話し合いの中で業務に入れられるものと、取り入れることが難しいものを分けています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価はHPにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	法人内で検討はしていますが、未実施のままとなっています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			今年度は研修の機会を増やしました。 主な研修 救急救命講習、発達障害の方は他人との距離感が近い（資料の読み合わせ）、エピペンの使用方法（動画視聴と練習用ペンで実技研修）、学齢期の親子支援（講義）
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者に対し、計画書を作成する際にアンケートを実施し、子どもや保護者のニーズを確認している。その中で、当事業所で実施可能な課題を計画書に落とし込んでいます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	標準化したアセスメントツールを利用しましたが、ばくの樹の今の支援に合致しないので取りやめていますが、今後、再検討してみます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			常勤職員で日中のプログラムを検討しています。 要望の多いハサミ、電卓、計量カップ、計量器具を使ったプログラムを取り入れるようにしました。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定化することで、向上する機能もあるため、毎回実施する活動と季節に合った活動を組み合わせるようにしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			細かな設定はできておりませんが、平日で取り組むプログラムと土曜日や長期休暇のプログラムは内容を変えています。 土曜日は昼食作りや電車体験、ばくの実との合同行事を実施しています。長期休暇時は午前、午後と分け、別のプログラムを作成し実施しています。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			工作や自分 BOX（中学生向けの機織りや編み物）など個別で行う活動、集団で行うポッチャ大会や音楽療法、バリアフリーピクスなど、様々な活動を実施しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前は打ち合わせを実施しています。その日の送迎確認、プログラムの確認、前日や前々日の利用者の様子の共有をしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	支援や送迎終了後に退勤時間となるため、全員での支援の振り返りはしていません。翌日等に行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録は、支援終了後に記録を行っています。記録を基に経過表の作成を行い、次回の個別支援計画に反映させています。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度、モニタリング（経過表作成）を実施しています。必要に応じて、個別支援計画の目標の変更、取り下げ、具体的な支援の取り組みを変更しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			毎日複数の組み合わせをしているわけではありませんが、様々なプログラムを行う中で、複数の組み合わせになるようにしています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか				児童発達支援管理責任者が、会議に参加するようにしています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			2校の学校様とは、メールにて学校の情報をいただいております。（学級閉鎖の状況や下校時間の変更等）また、複数の学校様から保護者に配布される下校時間のプリントをいただいております。学校様の意向により、下校時刻の確認は保護者様を通して行ってほしい場所もあり、それぞれ対応は異なります。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現段階では、医療的ケア児の受け入れを行っていません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			新小学1年生でばくの樹をご利用予定の方の保育所、児童発達支援から保育内容の聞き取りを実施しました。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			支援学校高等部卒業予定の方の進路先に、ばくの樹においての活動内容や利用年数、課題等を報告書として渡しております。（保護者様経由で、進路先に渡す、あるいは保護者様に了承を得て、送付する）
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			今年度は発達障害者センターの研修に参加しました。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				来年度は保護者アンケートの中で何人かの方が希望されているので、法人内で検討します。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			今年度は自立支援協議会主催の児童発達支援管理者研修、グループスーパービジョン研修に参加しました。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っているか	○			連絡帳や送迎時、また面談にて行っています。電話でも 受け付けております。 お気軽にご相談ください。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支援 を行っているか			○	未実施となっています。
	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っています。 不明な点がありましたら、ご連絡ください。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい るか	○			連絡帳や送迎時、また面談にて行っています。電話でも 受け付けております。 お気軽にご相談ください。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支 援しているか	○			今年度は、ばくの実と合同でご家族ぐるみで参加可能な スポーツフェスタを実施しました。 また、保護者会では白岡にあります基幹相談支援センタ ートロンコ様の職員様に出向いてもらい、身近な悩み相 談会を実施しました。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に周 知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対 応しているか	○			苦情受付の対応方法は契約時に重要事項説明書に て、説明しております。 何かありましたら、苦情窓口にご相談ください。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信しているか	○			ばくの樹だよりを発行しています。お子様のご様子は、ごち らをご覧ください。 また、行事予定は月間の行事予定表、土曜日ご利用の 方は土曜活動のお知らせ、夏休み期間は夏休みの行事 のお知らせをご確認ください。また行事の問い合わせも受 け付けています。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			今後も個人情報に留意していきます。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしているか	○			配慮をしているつもりでも、足りない部分があると思いま す。何かお気づきの点がありましたら、お知らせください。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っているか			○	事業所の規模が小さいため、地域住民を招待することは 難しいと感じています。
非 常 時 等 の 対 応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知しているか	○			地震が発生した時の緊急時対応マニュアルは契約時に 保護者に配布していますが、その他のマニュアルについて は、契約時に他にも様々なマニュアルを作成していると口 頭で一言話すだけに留まっています。ばくの樹の玄関に全 てのマニュアルを入れたファイルを置きましたので、ご覧にな りたい方は、面談時にお声掛けください。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っているか	○			今年度は、火災、地震、水害、不審者対応の訓練を利用 者と共に実施しました。3月には消防署の職員と消火 器等の訓練を実施する予定です。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしているか	○			年に1回、虐待及び身体拘束の研修会を実施していま す。今年度は2月に実施する予定です。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束は基本的にはしていませんが、緊急を要する時に行動制限をさせて頂く可能性がある方には、個別支援計画書に記載させていただきます。記載したとしても本人及び相手が大きな怪我や命に係わるときのみと考えています。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師から直接ではありませんが、保護者から聞き取った内容で対応しています。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎月1回、ヒヤリハット報告書の共有をパート職員も含めた会議内で実施しています。